

地域の子どもを支える活動の担い手を養成します。

子どもの貧困問題に関する支援活動を実際に行うために必要な知識、技術やネットワークづくり等について学びます。研修終了後は、地域コーディネーターとして登録され、市町の依頼等により、子どもへの支援を行っていただきます。

専門研修の内容

- 1 講師による県外の取組事例の紹介（下記参照）
- 2 支援活動実施における留意点について
- 3 グループワーク：支援計画の作成

平成30年

2/3 (土) 13:00～17:00

2/4 (日) 13:00～17:00



幸重社会福祉士事務所長
幸重忠孝さん
ゆきしげただたか

宇部市総合福祉会館
〒755-0033 宇部市琴芝町2-4-20

周南市徳山社会福祉センター
〒754-0844 周南市速玉町3-17

プロフィール

1973年生まれ、岡山出身。児童養護施設職員、大学教員を経て滋賀県教育委員会のスクールソーシャルワーカーとして小中学校で福祉課題に対応する。現在は大津市にこどもソーシャルワークセンター（幸重社会福祉士事務所）を設立し、地域での夜の子どもの居場所、子ども食堂づくりやその運営支援を行っている。龍谷大学非常勤講師。主な著書：『子どもたちとつくる貧困とひとりぼっちのないまち』かもがわ出版（2013）

平成30年

2/10 (土) 13:00～17:00

2/11 (日) 13:00～17:00



川崎医療福祉大学講師
直島克樹さん
なおしま かつき

岩国市保健センター
〒740-0021 岩国市室の木3-1-11

サンライフ萩
〒758-0025 萩市土原町526

プロフィール

岡山出身。関西学院大学大学院修了、神戸少年の町子ども家庭支援センター相談員、川崎医療福祉大学助教を経て2013年4月より現職。岡山子どもの貧困対策ネットワーク会議代表、子どもの貧困対策センターあすのばアドバイザーなど。学生と共に地域で孤立しがちな子どもたちの居場所を提供する「倉敷トワイライトホーム」事業を立ち上げ、支援が必要な家庭に対し、関係機関への橋渡しを行なう。また、現在は地域の子どもの居場所を運営する団体のネットワーク化、子どもの貧困の解決に向けた地域づくりも進めている。

対象者：原則として基礎研修（平成29年9月～10月）を受講した方。
ただし、子どもに関する知識を有する方、支援経験のある方は参加可能です。ご不明な場合はお問い合わせください。

定員：各回30名程度

締切：平成30年1月19日（金）まで

参加費
無料

研修終了後の流れ

- 1 研修修了証の交付
- 2 参加者の同意の上、地域コーディネーターとして、名簿を県・市町へ登録
- 3 市町における子どもの貧困対策に協力

申込・問い合わせ＜事務局＞

NPO法人山口せわやきネットワーク
こども明日花プロジェクト

申込専用 E-mail : sanka.asuhana@gmail.com

TEL: 070-3777-1187

FAX: (083)-901-1165

参加ご希望の方は、メール、電話、FAXで
①参加日、②お名前、③住所、④連絡先
を連絡してください。

〒753-0047 山口市道場門前1-2-19 山口市市民活動支援センターさぼらんて気付

山口県の委託を受けて山口せわやきネットワークが実施します。



下記QRコードからも
申込可能（メール）



専門研修

子どもの貧困問題に取り組む
地域コーディネーター養成研修